

⑬ 日本国特許庁 (JP)

⑭ 実用新案出願公開

## ⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭56—42551

⑮ Int. Cl.<sup>3</sup>  
F 16 H 1/36  
B 62 D 55/00  
F 16 H 1/48

識別記号

庁内整理番号  
2125—3J  
6927—3D  
2125—3J

⑯ 公開 昭和56年(1981)4月18日

審査請求 未請求

(全 2 頁)

## ⑭ 装軌車両の終減速装置

⑰ 実 願 昭54—124623

⑱ 出 願 昭54(1979)9月11日

⑲ 考 案 者 佐藤好人

枚方市藤阪929番地 B9—106

⑲ 考 案 者 高橋知之

八幡市男山雄徳7番地 E15—10  
3

⑳ 出 願 人 株式会社小松製作所

東京都港区赤坂2丁目3番6号

㉑ 代 理 人 弁理士 米原正章 外1名

## ㉒ 実用新案登録請求の範囲

筐体Aに入力軸2にギヤ列を介して連係された回転軸5を回転可能に支承すると共に回転軸5にサンギヤ14を固設し、回転軸5に軸受11を介してキャリヤ12を設けると共にキャリヤ12に前記サンギヤ14および筐体Aに設けたリングギヤ15に啮合するプラネタリギヤ13を軸支し、筐体Aに前記回転軸5と同一軸心を有する支承部16を設けると共に支承部16に起動輪18を回転可能に設け、前記回転軸5にこの回転軸5と同一軸心を有するトルクチューブ26の一端部を回転可能に支承すると共にトルクチューブ26の他

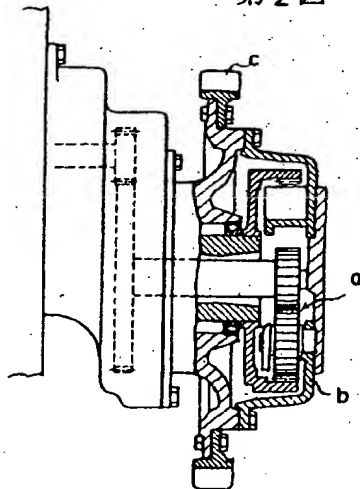
端部を起動輪18に連結し、トルクチューブ26の外周部に前記キャリヤ12を、トルクチューブ26の軸線方向に移動可能に且つ周方向には多少の遊びを有する連結手段で連結したことを特徴とする装軌車両の終減速装置。

## 図面の簡単な説明

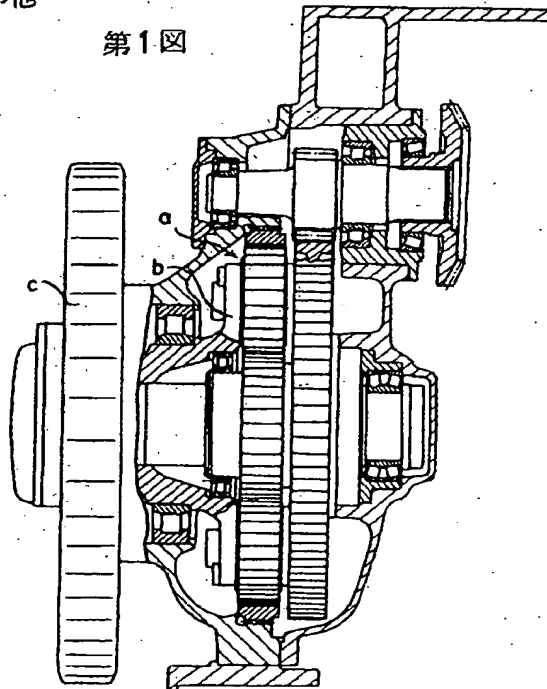
第1図、第2図、第3図はそれぞれ従来の終減速装置の縦断面図、第4図は本考案一実施例の縦断面図である。

Aは筐体、5は回転軸、12はキャリヤ、16は支承部、18は起動輪、26はトルクチューブ。

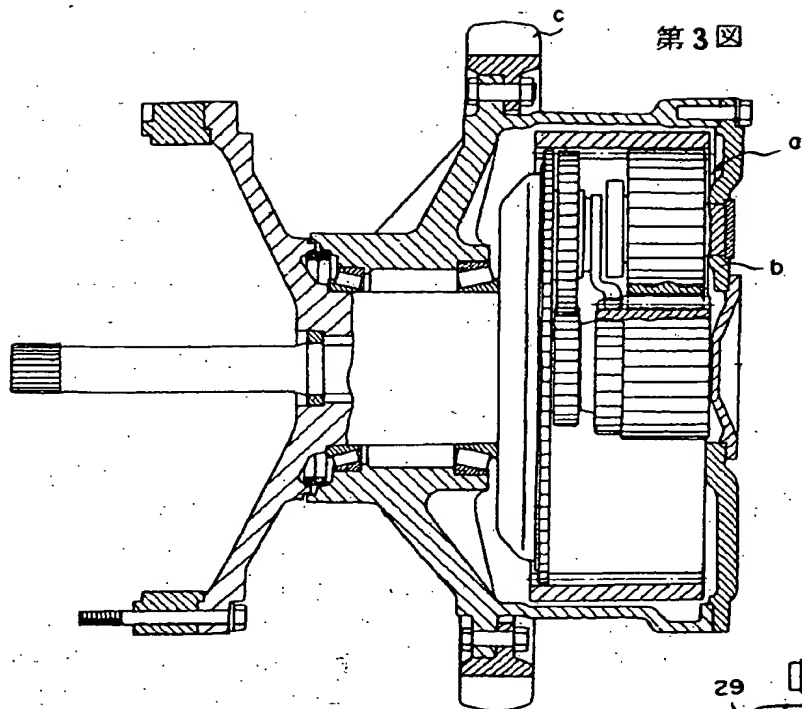
第2図



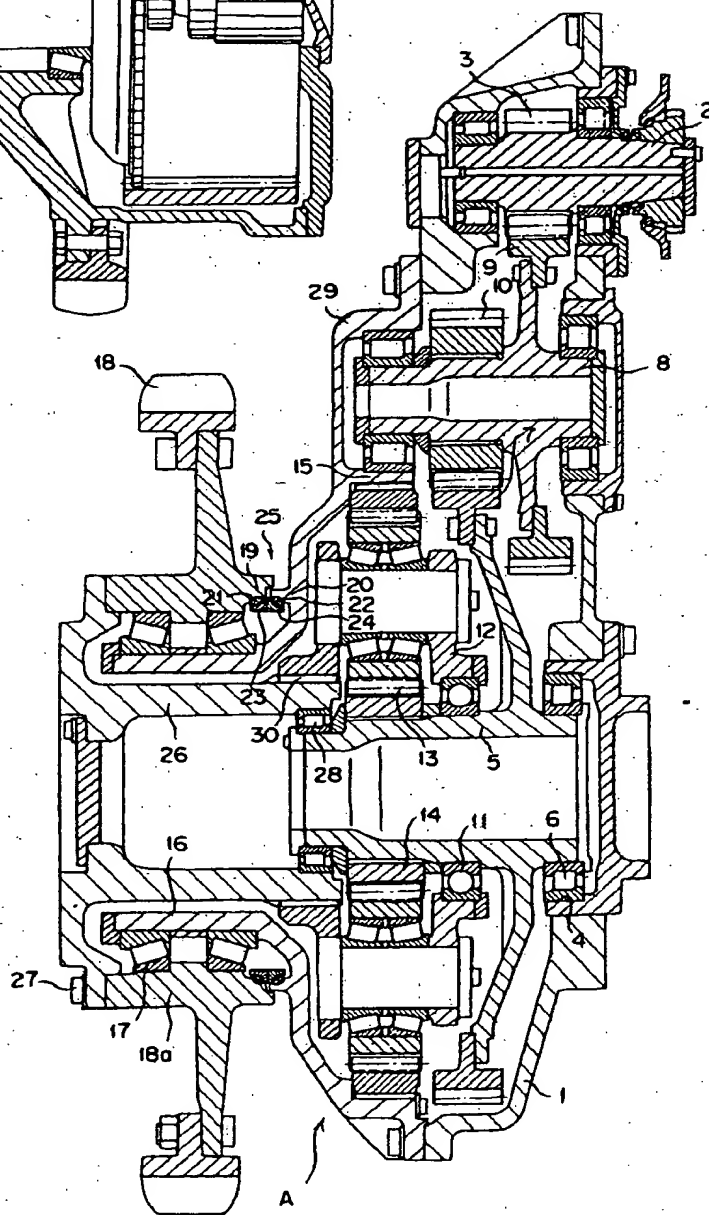
第1図



第3図



第4図



BEST AVAILABLE COPY